

戦略的パートナーシップ開発チームからの資金動員に関する最新情報

国連予算からは2%足らずの資金しか来ないため、UN Women は有志寄金に大きく頼らざるをえず、しかも資金動員をはかることは現行の経済風土においては困難な仕事です。12月に開かれた執行理事会で、2012~13年の収入目標9億米ドルは、7億米ドルに引き下げられました。

この予算は「理事会全体にわたり、政府、市民社会、民間部門とのパートナーシップ強化を促し、より小額でより多くのことをなす努力をしなければなりません」と、ミチエル・パチェレ事務局長は理事会で述べました。「にもかかわらず、私たちには資金動員に関して楽観的になれる根拠があります。今日、私たちの財政資源は以前の4機構の予算を合わせたものより大きいからです」と事務局長は付言しました。

UN Women の2012~2013年度資金動員戦略「女性のための資金を動員する：すべての人のための利益を生み出す」は、ドナーベースを深め、幅を広げることを目指しています。また、この戦略は地域プログラムディレクターとカントリーオフィスの資金動員に果たす役割と各スタッフメンバーのパートナー構築に果たす役割を強調しています。

これまで私たちはどれだけのことをしてきたでしょうか？

コア拠出に1億5000万米ドル、ノンコア拠出に1億5000万米ドルを達成しようという2011年度の目標は、12月13日現在、コア拠出に1億3500万米ドル、ノンコアに1億、米ドルに留まっています。昨年に比べると、コア拠出は80%増加しました。ドナーベースを深め、幅を広げるための努力をした結果、支援を誓約した新しい政府の数が大きく増えました。12月13日現在で、111カ国の政府がコア拠出の誓約をしました。因みに昨年度は106カ国でした。そのうち3分の1は複数年形式でした。拠出金を倍増ないし4倍に増やしたドナーもありました。

スイス、オランダ、イギリスのみならず、スウェーデン、フィンランド、デンマーク、カナダ、アラブ首長国連邦がUN Women への資金提供にかなりの増額を記録しました。スペインが相変わらず最高額の拠出国であり、困難な財政状況時にあるなかで、堅実な支援を行っています。さらに、OECD-DAC (OECD 開発支援委員会) メンバー国以外の国が支援に出てくる例が増えています。インド、ナイジェリア、アラブ首長国連邦は、UN Women に対するかなりの額の拠出を誓約し、2011年度に、ナイジェリアは50万米ドル、インドは100万米ドルを拠出し、アラブ首長国連邦は500万米ドルをコア資金に拠出することを誓約しています。

間もなく完成する「民間部門戦略」に述べられているように、財団や企業から資金を投入していただくための努力もなされています。現在、UN Women はヨルダンの地域事務所と協働して初のマーケティングヴェンチャーにクラフトとともに参入したところです。マイクロソフト、グーグル、インテルとの対話も継続中です。また、民間部門チームはCSWの会期中に農村女性とテクノロジーへのアクセスについ

てイベントを開催する計画を検討しています。女性の経済的エンパワーメントについてのコカコーラとのパートナーシップも検討中で、関係をいかにして活用し共有の目標を伝え合うかを探っています。

UN Women と UN グローバルコンパクトが、ちょうど 1 年前に女性のエンパワーメント原則に対する CEO の支援声明を発表して以来、250 社余りの企業が 7 原則履行への約束に署名しました。2012 年 3 月 6 日にニューヨークで開かれる予定の第 4 回女性のエンパワーメント原則年次イベントで進捗状況が発表される予定です。このイベントには、CEO 支援声明に署名した企業やその他のビジネス界や利害関係者が集まることとなります。その際に行われる討論は、企業行動や慣行をいかに変えて、職場や市場、地域社会でのジェンダー平等を推進するかという点に集中することになりましょう。また、この会合は、ジェンダー平等を企業の持続性や持続的な発展の課題にいかに入れ込むかについて討議する機会ともなるでしょう。

支援を築くためのもう一つの場は、UN Women 国内委員会のネットワークです。国内委員会は独立した地域の非政府組織として、ダイナミックな会員プログラムやそれぞれの国内での募金や提唱活動を通じて活動しています。現在、国内委員会は 18 か国に設置されており、2011 年 9 月にオーストラリアで開催された年次総会で、国内委員会は UN Women を支援する募金活動を強化し、UN Women から国内委員会への支援を増大することが合意されました。

未来を展望して

2011 年 1 月、UN Women はコア資金に拠出している 115 カ国の政府と共に創立初年を祝賀しました。以前は 2 つのドナー国のみが資金の大半を提供していましたが、今日、6 カ国あまりのドナーが 1000 万（10million）米ドル台を越える 2 桁の拠出をしています。これは私たちの使命の重要性を裏書するだけでなく、UN Women への信頼の投票でもあります。しかし、2011 年の資金目標には届かず、多くの加盟国は政治的約束を金銭的な約束に変える必要があるのです。

2012~2013 年の 2 年間に 7 億ドルという目標を達するには、募金努力を強化することが必要です。2012 年に[民間部門戦略]が設定されれば、民間部門や財団との有意義な可能性をもつパートナーシップに資金が流入する重要な道筋となるでしょう。

訳：平野和子（UN Women 日本国内委員会常任理事）